



蝉時雨が賑やかに降り注ぐ季節となりました。今月号も最新トピックスをお届けします。

国内動向▶▶▶▶▶

① 化学物質による労働災害事例を更新（厚生労働省）

7月24日、厚生労働省は「職場のあんぜんサイト」に労働災害事例を15件追加した。事例では、災害の発生状況のイラストとともに、原因や対策が紹介されている。



（職場のあんぜんサイトより）

[もっと詳しく](#)

[職場のあんぜんサイト（労働災害事例 令和元年7月24日追加分）](#)

② GHS ラベルを活用した職場の安全衛生教育のための資料を公開（厚生労働省）

6月25日、厚生労働省は、教育担当者が職場で労働者を対象に化学物質の危険有害性に関する教育を行う際に利用可能な資料を公開した。資料は、パワーポイント資料とテキスト、理解度確認テストから構成されている。

[もっと詳しく](#)

[厚生労働省（化学物質のGHSラベルを活用した職場の安全衛生教育のための資料）](#)

③ 今後の化学物質環境対策の在り方について答申（環境省）

6月28日、産業構造審議会（経済産業省）と中央環境審議会（環境省）の合同会合における「今後の化学物質環境対策の在り方について」の審議結果を受けて、中央環境審議会から環境大臣への答申がなされた。答申には化管法対象物質の選定や有害性判断基準、環境での存在に関する判断基準等についての提案が含まれており、環境省は本答申を受けて所要の措置を講じることとしている。

[もっと詳しく](#)

[環境省（「今後の化学物質環境対策の在り方について」に係る中央環境審議会答申について）](#)

海外動向▶▶▶▶▶

① SVHC 認可候補リストに 4 物質を追加（EU ECHA）

欧州化学品庁（ECHA）は、7月16日付で、垂リン酸トリス（直鎖、分岐鎖4-ノニルフェニル）（TNPP）や2,3,3,3-テトラフルオロ-2-（ヘプタフルオロプロポキシ）プロピオン酸（HFPO-DA）とその塩及び酸ハロゲン化物など4物質をREACHの高懸念物質（SVHC）認可候補リストに追加した。HFPO-DAとその塩及び酸ハロゲン化物は、化学物質の難分解性と水中移動性（mobility in water）に基づいてSVHCに追加された初めての物質となる。HFPO-DAのアンモニウム塩は商標名GenXとしても知られている。

[もっと詳しく](#)

[ECHA（Four new substances added to the Candidate List ECHA/PR/19/12）](#)

[ECHA（MSC unanimously agrees that HFPO-DA is a SVHC ECHA/NR/19/23）](#)

② マイクロプラスチックの制限提案に関するQ&Aを公開（EU ECHA）

7月10日、ECHAは、意図的に添加されるマイクロプラスチックの制限提案に関するパブリックコメントをサポートするためのQ&A文書を公開した。コメントの募集期間は9月20日までとなっている。

[もっと詳しく](#)

[ECHA（QUESTIONS AND ANSWERS ON THE RESTRICTION PROPOSAL ON INTENTIONALLY ADDED MICROPLASTICS Ver. 1.0）](#)

特集 : JIS Z 7252/7253:2019改正のポイント②

日本における GHS に基づく化学品の分類方法、SDS/ラベル表示等の情報伝達の標準化として制定されている JIS Z 7252/7253 が 2019 年 5 月 25 日に改正され、国連 GHS 文書第 6 版の内容に対応しました。今月号では、SDS の 9 項「物理的及び化学的性質パラメータの変更と明確化」について具体的な内容をご紹介します。

国連 GHS 文書改訂第 6 版では、SDS の 9 項「物理的及び化学的性質」の項目が第 5 版から修正されました。この修正に伴い、今回の新 JIS 改正では、JIS Z 7253・付属書 D で SDS の 9 項の項目名の一部変更と項目順の全面変更が行われました。また、JIS Z 7253・付属書 E を追加し、表 E.1 に基本的な物理的及び化学的性質、表 E.2 物理的危険性クラスに関するデータが記載されました。

旧JISの項目名と項目順	新JISの項目名と項目順
外観（物理化学的状態、形状、色など）	物理状態
臭い	色
臭いの閾値	臭い
pH	融点／凝固点
融点・凝固点	沸点又は初留点及び沸騰範囲
沸点、初留点及び沸騰範囲	可燃性
引火点	爆発限界及び爆発上限界／可燃限界
蒸発速度	引火点
燃焼性	自然発火点
燃焼範囲の上限・下限	分解温度
蒸気圧	pH
蒸気密度	動粘性率
比重	溶解度
溶解度	<i>n</i> -オクタノール／水分配係数（log値）
<i>n</i> -オクタノール／水分配係数	蒸気圧
自然発火温度	密度及び／又は相対密度
分解温度	相対ガス密度
粘度	粒子特性

※JIS Z 7253 : 2012（付属書 D）及び JIS Z 7253 : 2019（付属書 E）より引用

次回 9 月号では、「健康及び環境の各危険有害性クラスに対する SDS を作成する濃度」についてご紹介いたします。

JIS 改正に伴う移行期間は 3 年です。早めの対応をお勧め致します。

お知らせ

○ケミカルマテリアルJapan2019 化学物質管理ミーティングへの出展

9月18日(水)、19日(木)にパシフィコ横浜で開催される化学物質管理ミーティングに出展します。化学物質管理にフォーカスした国内唯一のビジネスマッチングイベントです。

出展社プレゼンテーションでは、化審法申請における新規ポリマーの留意点や製品中化学物質の健康リスク評価についての講演を行います。またCERIのブースでも、改正JIS対応SDS作成やSDS作成のための各種試験、PFOA等の製品中化学物質の分析等に関するミニセミナーを開催します。是非お立ち寄り下さい。

ご質問等ございましたら、以下の連絡先までお気軽にお問い合わせください。



一般財団法人 化学物質評価研究機構

Chemicals Evaluation and Research Institute, Japan

安全性評価技術研究所 評価事業部

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-4-25 日教販ビル 7F

Tel: 03-5804-6136 (担当: 石井 (聡)、田辺)

URL: <http://www.cerij.or.jp> E-mail: cac-reach@ceri.jp